

発表事項 1

令和4年12月22日
連絡先
議会事務局 企画法務課 企画広聴班 担当者：西山、加藤 電話：059-224-2877 FAX：059-229-1931

2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を発表します

「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」は、県議会の活動内容を広く発信することで県民の皆さんに県議会への関心を持っていただくとともに、参加意識を高めていただけるよう、県議会のホームページやe-モニター等を活用して毎年選定を行っています。

この度、2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」として以下の取組を選定しました。

【開かれた議会運営の実現】

- 「楽しい伊勢茶体験会」を開催
《議事堂エントランスホールで伊勢茶振興》 (3月)
- 議場内で雅楽の演奏会を実施
《コロナ禍で失われた発表の場として》 (3月)
- 第4回「みえ高校生県議会」を開催
《8校26名の高校生が参加》 (8月)

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」の最終案に関し
申し入れ 《正副議長、全常任委員長から知事へ》 (7月)

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」で検討を継続
《議会のスマート化に向けて検討》 (1月～)
- 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」で検討を継続
《条例の改正と逐条解説の作成を検討》 (1月～)
- ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議を全会一致で可決
《三重県議会の考えを発信》 (3月)
- 議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」を可決
《不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や施策を規定》 (5月)
- オンラインを活用した会議の試行を開始
《オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて》 (5月～)

【その他】

- 議員のSNS上での書き込みに関する正副議長声明を発表
《議員一人一人の更なる意識高揚に向けて》 (10月)

<選定方法>

1. 「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の候補として23項目(自由記載を除く)をリストアップ
2. 次の方法により投票を実施（投票期間：令和4年11月10日～12月9日）
 - ・ 県議会ホームページからの県民投票
 - ・ 県議会傍聴者による投票
 - ・ e-モニターによる投票
 - ・ 県議会議員による投票
3. 正副議長が投票の結果を参考にベスト10を選定

2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の投票結果

ベスト10	選考基準	No.	項目	平均得票率	総得票数	内訳					
						HP閲覧者・傍聴者		e-モニター		議員	
						得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
		1	「みえ現場de県議会」を開催 《桑名市でコロナ禍からの復興に向けて討論》(2月)	28%	211	40	34.8%	155	17.9%	16	32.7%
●	②	2	「楽しい伊勢茶体験会」を開催 《議事堂エントランスホールで伊勢茶振興》(3月)	36%	248	32	27.8%	188	21.8%	28	57.1%
●	②	3	議場内で雅楽の演奏会を実施 《コロナ禍で失われた発表の場として》(3月)	32%	185	37	32.2%	124	14.4%	24	49.0%
		4	県議会新体制発足 《4年目の議会活動をスタート》(5月)	9%	82	7	6.1%	68	7.9%	7	14.3%
●	①	5	第4回「みえ高校生県議会」を開催 《8校26名の高校生が参加》(8月)	54%	471	62	53.9%	377	43.6%	32	65.3%
●	②	6	「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」の最終案 に関し申し入れ 《正副議長、全常任委員長から知事へ》(7月)	30%	229	21	18.3%	184	21.3%	24	49.0%
		7	「令和4年版県政レポート」に関し申し入れ 《全常任委員長から知事へ》(7月)	13%	83	11	9.6%	61	7.1%	11	22.4%
		8	議会改革推進会議で4年間の議会活動の評価を進める 《次期改選後の議会への提言に向けて》(9月～)	15%	117	25	21.7%	86	10.0%	6	12.2%
●	②	9	「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」で検討を継続 《議会のスマート化に向けて検討》(1月～)	30%	256	35	30.4%	204	23.6%	17	34.7%
●	②	10	「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」で 検討を継続 《条例の改正と逐条解説の作成を検討》(1月～)	30%	192	33	28.7%	137	15.9%	22	44.9%
		11	「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」で 検討を継続 《条例案素案の検討などを実施》(1月～)	28%	250	19	16.5%	210	24.3%	21	42.9%
		12	県外調査をオンライン形式で実施 《コロナ禍でも積極的に調査を》(1月・2月)	26%	209	35	30.4%	159	18.4%	15	30.6%
●	②	13	ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議を全会一致で可決 《三重県議会の考えを発信》(3月)	37%	340	30	26.1%	284	32.9%	26	53.1%
		14	議員勉強会を開催 《県政を取り巻く諸課題等の中からテーマを選定し 見識を深める》(3月・10月)	14%	129	17	14.8%	104	12.0%	8	16.3%
●	①	15	議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる 条例」を可決 《不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や 施策を規定》(5月)	38%	265	48	41.7%	192	22.2%	25	51.0%
●	①	16	オンラインを活用した会議の試行を開始 《オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて》(5月～)	36%	262	52	45.2%	190	22.0%	20	40.8%
		17	北朝鮮に関連する二つの決議を全会一致で可決 《三重県議会の考えを発信》(6月・10月)	20%	176	20	17.4%	144	16.7%	12	24.5%
		18	紀伊半島三県議会交流会議に出席 《共通課題について国へ要望》(7月)	10%	132	9	7.8%	119	13.8%	4	8.2%
		19	三重県で近畿2府8県議会議長会議を開催 《共通課題について国へ要望》(8月)	13%	166	17	14.8%	145	16.8%	4	8.2%
		20	「大規模地震対応マニュアル」に基づく訓練の実施 《議場からの避難とメールによる安否報告》(3月)	26%	351	25	21.7%	317	36.7%	9	18.4%
		21	「通任期制」について議会改革推進会議役員会で検討 《次期改選後の議会へ引き継ぎ》(6月～)	7%	49	6	5.2%	38	4.4%	5	10.2%
		22	インターンシップ実習生を受け入れ 《報告会で議会に対して提言》(9月)	21%	241	33	28.7%	203	23.5%	5	10.2%
●	②	23	議員のSNS上での書き込みに関する正副議長声明を発表 《議員一人一人の更なる意識高揚に向けて》(10月)	36%	227	50	43.5%	154	17.8%	23	46.9%
		24	その他	4%	13	8	7.0%	2	0.2%	3	6.1%
得票総数					4,884	672	3,845		367		
投票者数					1028 (956)	115 (121)	864 (784)		49 (51)		

●は「ベスト10」に選定したものの

■は各区分の上位10項目

①は3つの投票結果の全てで上位10位以内に入ったもの(3つ)

②は2つの投票区分で上位10位以内に入ったもの(9つ)から次のとおり7つを選定

(1)3つの投票区分ごとに得票率(得票数÷投票者数)を算出

(2)3つの投票区分ごとの得票率の平均値(平均得票率)を算出

(3)平均得票率の上位7つを選定

()は前年の投票者数

※HP閲覧者の投票者数:100人(昨年:105人)

※傍聴者の投票者数:15人(昨年:16人)

※e-モニター登録者数:1,385人(回答率62.4%)
(昨年:1,181人(回答率66.3%))

【参考】

(2021年)「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」

【住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進】

- 新型コロナウイルス感染症への対応《国に意見書提出、補正予算を先議など》

【独自の政策提言と政策立案の強化】

- 「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続
《さまざまな差別の解消に向け、条例案素案の検討などを実施》
- 議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決
《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》

【議員報酬、政務活動費及び選挙など】

- 政務活動費の減額《45%減額》
- 「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決
《現在の定数51人から48人に》

【その他】

- 三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催
《伊勢茶の魅力を発信》
- 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置
《議会のスマート化に向け、検討を始める》
- 全議員にタブレットを配付《タブレット勉強会を実施》
- 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置
《三重県議会議員の政治倫理に関する検討を始める》
- 新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催
《補正予算を可決》

2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」（概要）

（令和4年12月22日発表）

～開かれた議会運営の実現～

3月	<p>「楽しい伊勢茶体験会」を開催 《議事堂エントランスホールで伊勢茶振興》</p>
<p>3月7日、伊勢茶のおいしさを再確認する機会として、三重県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、議会と「半泥子の会」茶友の共催で「楽しい伊勢茶体験会」を開催しました。</p> <p>「半泥子の会」茶友による「おいしい抹茶体験」や、飯南高校美術部の生徒による「お茶ラテの実演」を通じて、伊勢茶の魅力や楽しみ方を知ることができました。</p>	



楽しい伊勢茶体験会

3月	<p>議場内で雅楽の演奏会を実施 《コロナ禍で失われた発表の場として》</p>
<p>3月24日、議場内で皇學館大学雅楽部による演奏会を行いました。</p> <p>この演奏会は、県民から親しまれ県民に開かれた県議会を目指す取り組みの一つとして、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、若者をはじめ文化活動に携わる県民の方々の発表の場が失われている状況に鑑みて、初めて議場内で開催しました。</p>	



雅楽演奏会

8月	第4回「みえ高校生県議会」を開催 《8校26名の高校生が参加》
<p>8月22日、「みえ高校生県議会」を開催しました。この取り組みは、広聴広報活動の一環として、高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に開催しています。4回目となる今回は、県内8校から26人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生議員の質問や提案は、自分たちを取り巻く環境や三重県の状況、他県の事例、統計等をしっかりと調べ、議論を深めてきたものであり、県議会にとって大変重要なものばかりでした。いただいた質問や提案は、今後の議会での議論にしっかりと繋げていきます。</p>	



みえ高校生県議会


～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～


7月	「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」の最終案 に関し申し入れ 《正副議長、全常任委員長から知事へ》
<p>7月25日、正副議長、各行政部門別常任委員長および予算決算常任委員長から知事に対し、「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」および「みえ元気プラン（仮称）」最終案に基づく今後の「県政運営」等に関して、申し入れを行いました。</p> <p>この申し入れでは、人口減少対策の自然減対策および社会減対策の記述の充実や、KPI（重要業績評価指標）が県民にも分かりやすい記述になるように工夫すること、「みえ元気プラン（仮称）」の進捗管理と併せて行う行財政改革取組が後退することがないようにしっかりと取り組むことなどを要望しました。</p>	





知事への申し入れ

～独自の政策提言と政策立案の強化～

1月～	「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」で検討を継続 《議会のスマート化に向けて検討》
<p>議会のスマート化について検討するため、令和3年(2021年)3月に「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置し、検討を継続しています。</p> <p>令和4年は、10月末までに6回会議を開催し、配付資料の電子化(資料のペーパーレス化)やオンライン委員会の議員向けマニュアルの作成などを進めています。</p>	
	
資料閲覧システム操作説明会	

1月～	「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」で検討を継続 《条例の改正と逐条解説の作成を検討》
<p>三重県議会議員の政治倫理に関する課題について検討するため、令和3年(2021年)6月に「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置し、検討を継続しています。</p> <p>令和4年は、10月末までに8回会議を開催し、現行の政治倫理に関する条例の改正や、逐条解説の作成について協議を続けています。</p>	
	
三重県議会議員の政治倫理に関する 検討プロジェクト会議	

3月	ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議を全会一致で可決 《三重県議会の考えを発信》
<p>2月24日に、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を行ったことを受け、ロシアによるウクライナ侵攻に対する三重県議会の考えを発信するため、2月定例会月会議において「ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議」を全会一致で可決しました。</p> <p>この決議では、ロシアによる侵攻の犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、ロシア政府に対し、ウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議し、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、強く求めています。また、政府において、現地在留邦人の安全確保等に努めるとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退の実現に向けて、制裁措置の徹底及び強化を図ることも求めています。</p>	
	
全会一致で可決	

5月	議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」を可決 《不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や施策を規定》
<p>令和2年(2020年)5月に設置した「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」では約1年11カ月にわたる検討を進め、本年5月に条例案を提出し、同月に「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」が全会一致で可決・成立しました。</p> <p>この条例は、対話を重視して不当な差別等の解消を推進する包括的な条例として、基本理念としての不当な差別等の禁止を明記するとともに、全国の都道府県で初めて不当な差別に係る紛争の解決のために県が助言等を行う仕組みを設けるなど、不当な差別等を解消するための体制の整備や基本的施策などについて定めています。</p>	
	
本会議において議案説明	

5月～	オンラインを活用した会議の試行を開始 《オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて》
<p>新型コロナウイルス感染症などの重大な感染症のまん延や、大規模な災害などの緊急事態が発生した場合に、議事堂に参集することが困難となっても、議会の本来の機能である政策決定ならびに知事などの事務執行について監視・評価を行うため、オンラインにより会議ができるよう準備を整えています。</p> <p>5月からオンライン会議のノウハウを蓄積するために、代表者会議や議会運営委員会においてオンライン会議を試行し、10月からは委員長会議のオンライン開催や常任委員会でのオンラインを活用した模擬委員会を開催していきます。</p>	



オンラインによる代表者会議

～その他～

10月	議員のSNS上での書き込みに関する正副議長声明を発表 《議員一人一人の更なる意識高揚に向けて》
<p>三重県議会議員がSNS上に書き込みを行った事案について、これまでの経過も含め、三重県議会の信頼を大きく失墜させた責任は重く受け止めるべきであるとして、10月19日に当該議員に対する辞職勧告決議案が提出され、賛成少数(賛成22、反対23)で否決されました。</p> <p>この事案を受け、10月28日に議長と副議長の連名で「三重県議会として、『三重県議会議員の政治倫理に関する条例』及び『差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例』の下、議員の責務をしっかりと果たし、県民の議会に対する信頼を揺るぎないものとするため、議員一人一人の更なる意識高揚に向けて不断の取り組みを行っていきます。」との声明を発表しました。</p>	



議長定例記者会見で発表